

ALA ニュース 第 156 号

内容紹介

01 ニカラグアがドイツを国際司法裁（ICJ）に提訴

ドイツは昨年イスラエルへの防衛装備品供与を 10 倍に増やした（約 560 億円）。いまや同国への軍事援助の 30% を占める。ガザでのジェノサイド支援は許されないと停止を求めている。南アのイスラエル提訴に続く。

02 台湾の学者たち 37 人の反戦声明

「台湾有事」が声だかに叫ばれた昨年 3 月、ウクライナ戦争の即時停戦と台湾の自主、対米中等距離の外交を訴えた有識者たちの勇気ある発言。

03 J・サー「左翼の汎アフリカ主義者がセネガル大統領に」

選挙による政権交替を続けてきた西アフリカの同国で、与党政権による妨害や抑圧を打ち破って野党候補が勝利した。サヘル地域ですすむ脱植民地化のながれと位置付けている。

04 バナイク「モディと BJP が新たな人民攻撃を準備」

元デリー大学の作家、社会活動家が、総選挙を迎えたインドでモディ政権の与党、バーラティア・ジャナタ党（BJP）の政治支配の反人民的、反民主主義的性格を分析し、たたかいを呼びかけている。

05 その他の記事は「鈴木頌 ALA ニュース編集日記」で参照で

きます（[aala_news](https://livedoor.jp/aala_news) の編集日記 (livedoor.jp)